

つながりあう未来のために、今できること

# Now ing.

株|主|通|信| 2011年春夏号



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

2010年度決算で売上高が初の3兆円超え  
世界を視野に「真の勝利の方程式」を推進  
東日本大震災の被災地の復興を支援

ソフトバンク株式会社  
[www.softbank.co.jp](http://www.softbank.co.jp)

証券コード：9984

# Now *Start* ing.

つながりあう豊かな世界へ。

ソフトバンクは、歩み始めています。



To Our Future



東日本大震災の深いつめ跡が残る日本。

復興への道筋はいまだ定まっていませんが、

未来への一步を踏み出すことが必要です。

ソフトバンクは「情報革命で人々を幸せに」という大きな志のもと、

世界インターネットNo.1に向かって、

着実に歩みを進めていきます。

## 世界インターネットNo.1へ ソフトバンク 真の勝利の方程式



 SoftBank

2011年、グループのロゴカラーに  
シルバーが新たに追加されました。

## 目次

- 2** 株主の皆さまへ
- 2** report1.  
2010年度の決算報告
- 3** report2.  
モバイルインターネットNo.1への取り組み
- 4** report3.  
アジアインターネットNo.1への取り組み
- 5** Q&A
- 6** 特集「今」取り組んでいること
  - 6** 1.モバイルインターネットNo.1に向けて
  - 8** 2.アジアインターネットNo.1に向けて
- 10** 連結業績ハイライト
- 12** 連結財務諸表
- 14** セグメント別営業概況
- 16** CSR活動
- 17** 会社概要／  
第31回定時株主総会決議ご通知

当社第31回定時株主総会が  
開催されました。  
決議ご通知につきましては  
P.17をご覧ください。



「予想を大きく上回る  
実績が出せた」

東

日本大震災で被災された方々には、心より  
お見舞い申し上げます。

ソフトバンクグループは2010年度も順調に成長を続け、  
連結売上高は初めて3兆円を超えました。また、営業  
利益は6,291億円となり、当初の予想を大幅に上回り  
ました。移動体通信事業の業績が好調に推移し、連結  
ベースでの増収増益に大きく寄与しました。

純有利子負債<sup>※1</sup>は2014年度末までにゼロにするという  
目標の達成に向けて順調に削減が進んでいます。有利子  
負債<sup>※2</sup>の返済原資となるフリー・キャッシュ・フロー<sup>※3</sup>  
については、2009年度からの2年間で約9,500億円を  
創出することができました。

2011年度と2012年度は、増収増益を維持しつつ、さら  
に5年後、10年後の成長に向けて足場を固めるべく、  
今まで以上に設備の増強と顧客獲得の強化に力点を  
置いて取り組んでいきます。

■2010年度 7つの「過去最高」

連結業績	(前期比)
□売上高	過去最高 <sup>※4</sup> +9%
□EBITDA <sup>※5</sup>	6期連続 過去最高 <sup>※4</sup> +18%
□営業利益	6期連続 過去最高 <sup>※4</sup> +35%

□経常利益	2期連続 過去最高 <sup>※4</sup> +53%
□当期純利益	過去最高 <sup>※4</sup> +96%
□営業キャッシュ・フロー	3期連続 過去最高 <sup>※4</sup> +24%
□フリー・キャッシュ・フロー	2期連続 過去最高 <sup>※4</sup> +44%

※1 純有利子負債=有利子負債-手元流動性 手元流動性=現金及び預金+流動資産に含まれる有価証券 ※2 有利子負債：短期借入金+コマーシャル・ペーパー+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金。リース債務を含まず。ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化(Whole Business Securitization)スキームにおいて発行された社債(銘柄：WBS Class B2 Funding Notes、発行体：J-WBS ファunding(株))のうち、当社が前期に取得した額面270億円を除く ※3 フリー・キャッシュ・フロー =営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー ※4 当社が連結決算を開始した1994年度以降 ※5 EBITDA=営業増益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

このたびの震災を通じて、通信、インターネットから得られる情報は人々の重要なライフラインになっていることを改めて痛感しました。今後は「電波改善宣言」のもと、引き続きネットワークの強化に取り組むとともに、災害に強いネットワークの構築を目指していきます。

移動体通信事業では、「モバイルインターネット」の普及が進み、スマートフォン（高性能携帯電話）とスマートパッド（タブレット型多機能端末）の利用が拡大を続けています。2011年4月28日に発売されたiPhone 4 ホワイトモデル、iPad 2も売れ行きが好調です。この先も、端末ラインアップの強化やサービスの拡充に



iPhone 4



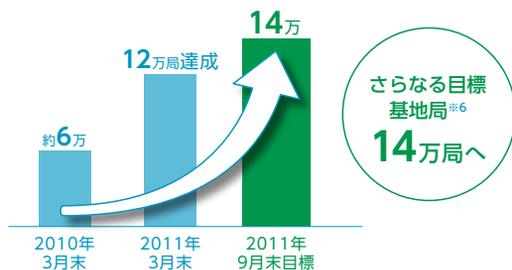
iPad 2

## 「情報は重要なライフライン」

よってさらなる顧客数の増加を図っていきます。

2006年4月の移動体通信事業への参入から5年が経過しました。営業利益、基地局数、契約数のすべてにおいて順調な成長を続けてきましたが、これに満足することなく、さらなる成長へ努力を続けていきます。

■「電波改善宣言」の進捗状況



※6 ホームアンテナ、ホームアンテナFTを除く

## 移動体通信事業における5年間の成果

営業利益

5倍

移動体通信事業の営業利益は4,024億円に。

基地局数

6倍

2011年3月時点で、12.2万の基地局<sup>※6</sup>を設置。

累計契約数

7割増

累計契約数は、2005年度末から約1,000万件増の2,540万件に。



PPLive旗下媒体 WWW.PPTV.COM

**世**界に目を転じると、着実にアジアの時代を迎えようとしています。中国とインドを筆頭にこの先も成長を続け、20年後には世界のGDPの約44%をアジアの国々が占める<sup>\*7</sup>との予測もあります。

ソフトバンクはこれまで優れた技術やビジネスモデルを持つアジアの有力企業との提携を行ってきましたが、確実に実を結び始めています。ソフトバンクが筆頭株主を務める中国最大級のSNS「Renren」を運営する<sup>レンレン インク</sup>Renren Inc.が2011年5月4日ニューヨーク証券取引所に上場しました。また2011年1月<sup>ピーピーライブ コーポレーション</sup>に出資したPPLive Corporationは、約1億人のユーザー<sup>\*8</sup>を有する中国No.1オンラインテレビサービス「PPTV」を運営しています。中国で初めてとなるiPad版サービスを2011年2月に開始し、順調な成長が続いています。「アジアインターネットNo.1」に向けて、今後は日本企業との合併による中国進出や、<sup>レンレン ビービーティーヴィー</sup>「Renren」、「PPTV」などのアジアの有力な

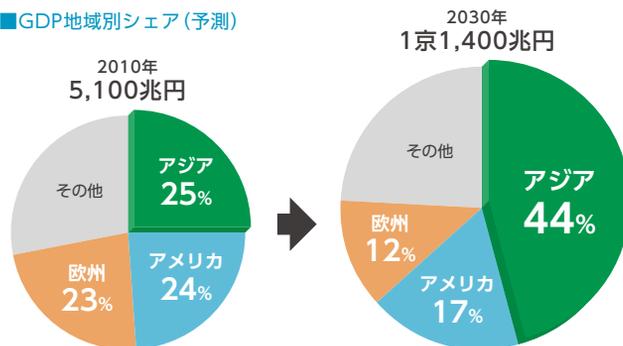
## 世界中の人々を 情報でつなぎたい

インターネットサービスとの連携によって、シナジーの創出を目指します。また、アメリカの世界最大級招待制ファミリーセールサイト「GILT」<sup>ギルト</sup>とも連携を進めています。ソフトバンクグループは、今後も世界を情報でつなげ、情報革命で人々を幸せにするために努力していきます。株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ソフトバンク株式会社 代表取締役社長

孫正義

■ GDP地域別シェア(予測)



## 用語解説

## オンラインテレビサービス

インターネットを通じて提供されるテレビ配信サービス。

\*7 Goldman Sachs Global ECS Research (2010年9月8日)

\*8 PPLive Corporation調べ (2011年3月末現在)

## Q &amp; A

このページでは、株主の皆さまからのご質問にお答えします。

Q 株主優待制度が新しくなったようだが、どう変わったのか？

A 株主の皆さまからのご要望を受け、より多くの方に本制度をご利用いただけるように優待の内容を変更しました。2011年6月から実施される株主優待は、ソフトバンク携帯電話の「ホワイトプラン」の月額基本使用料980円(税込)が保有株式数に応じて無料となるほか、Yahoo! BBサービス/SoftBankブロードバンド サービスにおいてはオプションサービス

■ ホワイトプラン月額基本使用料無料期間

保有株式数	無料期間(半期ごと)
100株以上1,000株未満	1ヵ月間
1,000株以上	3ヵ月間

への加入が不要となります。

株主優待制度の詳細については、本株主通信に同封している「ご利用説明書」をご覧ください。

●株主優待は、毎年3月31日および9月30日現在で1単元(100株)以上保有される株主の皆さまが対象です。

Q 「ソフトバンクアカデミア」では、今どのようなことをしているのか？

A 2010年7月に開校した「ソフトバンクアカデミア」には、ソフトバンクグループ社員のほか、企業経営者や公務員、医師など、さまざまな分野で活躍する社外の人材が参加しています。現在、300名(社内：200名、社外：100名)のアカデミア生が、ソフトバンクグループの後継者を育成する実践形式のプログラムに取り組んでいます。現実の経営課題をテーマとして、課題解決のための考えを発表しあう

プレゼンテーションや、現経営陣とのハイレベルな議論など、単なる研修を超えた緊張感のある講義が展開されています。今後もソフトバンクアカデミアは、長期的な視点で後継者の発掘・育成を続けていきます。



# 1 モバイルインターネット No.1

## 最新のスマートフォンが続々登場

ソフトバンクモバイルでは、現在広がりを見せている Android™ 搭載スマートフォンを今後も続々と投入していきます。テンキーを採用し従来の携帯電話と同じような操作ができる007SHや、大画面ながら片手でも使いやすい003Pを始め、個性豊かな端末ラインアップでさらなる顧客獲得を目指していきます。

また、スマートフォンがはじめての方でも安心してご利用いただけるサービスなどもご用意しております。ぜひ店頭にお立ち寄りいただきお試しください。

●Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。



**AQUOS PHONE**  
THE HYBRID  
SoftBank 0075H



**AQUOS PHONE**  
THE HYBRID  
SoftBank 0075H J



**AQUOS PHONE**  
SoftBank 0065H



**Sweety**  
SoftBank 003P

iPhone 4  
ホワイトモデルや  
iPad 2 も発売!

最新のスマートフォンラインアップやサービスについては、ソフトバンクモバイルのサービスサイトをご覧ください。

▶ [www.softbank.jp](http://www.softbank.jp)

# へ向けて

## 東日本大震災の復旧活動・復興支援への取り組み

### 基地局の復旧について

震災発生後、ソフトバンクモバイルが提供する通信サービスにおいて、つながりにくい、またはご利用できない状況が発生し、皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。基地局の建て直し、衛星回線化、発電機の設置など、全社を挙げて復旧に取り組み、2011年4月14日までに震災前とほぼ同等のサービスエリア<sup>※1</sup>を回復することができました。また4月28日には、携帯電話基地局の復旧についてソフトバンクモバイルでの作業が完了しました<sup>※2</sup>。

※1 福島第一原子力発電所の影響範囲および地震・津波被害が甚大で立ち入りが制限されている地域などを除く ※2 福島第一原子力発電所20km圏内局、1.5GHz帯、作業済み復電待機局、移動通信基盤整備協会の計83局(4月28日時点)を除く ※3 2011年3月12日朝時点

### 復興支援について

ソフトバンクグループでは、さまざまな方法で東日本大震災への復興支援を行っています。「Yahoo! JAPAN」サイト上の復興支援ポータルサイトや、「ユーストリーム」での震災関連番組の配信など、被災者と支援者を情報でつなぐ取り組みを行っています。

基地局の状況  
(東北・関東エリア)

震災の影響を受けた基地局<sup>※3</sup>

19%

復旧作業完了<sup>※2</sup>



影響なし  
81%

総局数：19,950局

復興支援ポータルサイト



# 2 アジアインターネットNo.1へ

## Renren Inc.が ニューヨーク証券取引所に上場

中国最大級のSNS「Renren」を運営するインターネットサービス会社<sup>レンレン インク</sup>Renren Inc.がニューヨーク証券取引所に上場しました。上場後、ソフトバンクグループによる同社の持分時価総額は、累計投資額を大きく上回っています。<sup>レンレン インク</sup>Renren Inc.は、中国全土で、顧客基盤を急速に拡大しています。今回の上場により、今後ますます発展していくものと期待されます。

2011年5月4日  
米国上場!



## 中国No.1<sup>\*1</sup>オンラインテレビ

ソフトバンクグループは、中国のPPLive Corporation<sup>ピービーライブ コーポレーション</sup>に出資しています。同社は中国最大のオンラインテレビサービス「PPTV」<sup>ピーピーティーヴィー</sup>を運営し、ニュース、ドラマ、映画、スポーツなどの多彩なコンテンツのライブ中継やオンデマンド配信を行っています。さらに、パソコンだけでなく、テレビやiPad、携帯電話などにも

\*1 iResearch 2009データ \*2 PPLive Corporation 各年3月

# 向けて

## 日本企業と世界展開を見据えた合併会社を設立

ソフトバンクグループは、日本国内の企業とも提携を推進しています。日本有数のエンターテインメント企業である吉本興業株式会社や、日本最大級のファッションサイト「ZOZOTOWN」を運営する株式会社スタートトゥデイとそれぞれ合併会社を設立し、エンターテインメントやファッションなど幅広い分野でのインターネットビジネスの拡大を図っていきます。

インターネットを通じて  
コンテンツを世界へ!  
「コンテンツバンク」

 吉本興業株式会社



「ZOZOTOWN」の  
中国進出!



START TODAY CO.,LTD.

## 「PPTV」へ出資

サービスを拡大しています。

現在、オンライン動画市場は中国および世界各国で急速に成長しています。ソフトバンクグループはPPLive <sup>ビービーライブ</sup> <sub>コーポレーション</sub> Corporationと連携し、さまざまなインターネット端末で利用可能な、顧客ニーズに応える優れたサービスを実現していきます。



月間アクティブユーザー数<sup>\*2</sup>は  
1億人

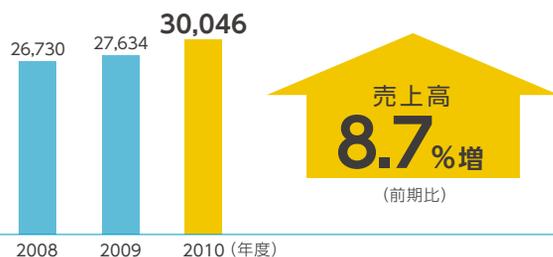
**PPTV**  
PPLive旗下媒体 WWW.PPTV.COM

## 連結業績 ハイライト

売上高が初めて3兆円を突破。  
営業利益が前年度から大幅に増加しました。

2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)

### ■売上高 (単位: 億円)

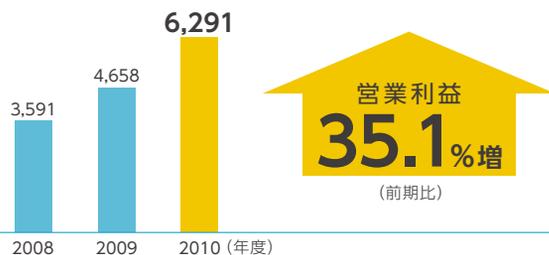


### 初の3兆円突破 移動体通信事業が好調に推移

売上高は3兆46億円となり、前年度から8.7%増加しました。移動体通信事業で、携帯電話契約数、ARPU\*、携帯電話端末の出荷台数が増加したことによるものです。

\* ARPU (Average Revenue Per User) : 1契約当たりの平均収入

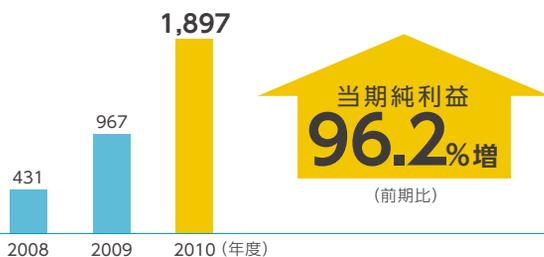
### ■営業利益 (単位: 億円)



### 6期連続最高益★を達成 20%を超える営業利益率に

営業利益は6,291億円となり、前年度から35.1%増加しました。経営効率が著しく改善し、営業利益率は前年度から4.1ポイント上昇の20.9%となりました。

### ■当期純利益 (単位: 億円)

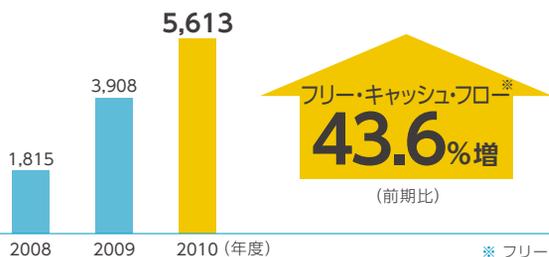


### 最高益★を達成 約2倍の大幅増益

当期純利益は前年度から96.2%増加して1,897億円となり、最高益★を達成しました。

★ 当社が連結決算を開始した1994年度以降

## ■フリー・キャッシュ・フロー (単位：億円)



※ フリー・キャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー

## 目標達成は目前に

フリー・キャッシュ・フローは5,613億円となりました。2009年度から2年間で累計9,522億円となり、3年間で累計1兆円とする目標の達成が目前となっています。

## ■純有利子負債 (単位：億円)

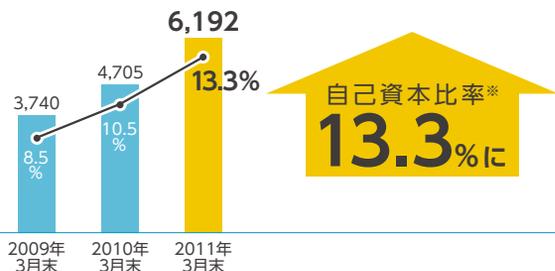


※ 純有利子負債=有利子負債-手元流動性

## ピーク時の約半分に

純有利子負債はピーク時の2006年6月末から約1兆2,000億円減の1兆2,096億円となりました。2014年度末までにゼロにするという目標の達成に向けて削減努力を続けていきます。

## ■自己資本/自己資本比率 (単位：億円/%)



※ 自己資本比率=自己資本÷総資産

## 移動体通信事業参入前の水準に回復

自己資本は2010年度末(2011年3月末)で6,192億円となりました。自己資本比率は13.3%となり、移動体通信事業への参入前の水準に回復しました。

## 連結財務諸表

### ■ 連結貸借対照表

(単位：億円) / 前期末(2010年3月31日現在) / 当期末(2011年3月31日現在)

資産の部	前期末	当期末
<b>流動資産</b>	<b>16,944</b>	<b>18,626</b>
・現金及び預金	6,900	8,616
・受取手形及び売掛金	8,165	6,577
・有価証券	43	780
・商品及び製品	370	498
・繰延税金資産	742	909
・その他	1,067	1,620
・貸倒引当金	△345	△377
<b>固定資産</b>	<b>27,664</b>	<b>27,917</b>
・有形固定資産	9,507	11,134
・無形固定資産	11,523	11,203
・投資その他の資産	6,633	5,579
<b>繰延資産</b>	<b>19</b>	<b>13</b>
<b>資産合計</b>	<b>44,628</b>	<b>46,557</b>

#### ※1 短期借入金 前期比270億円の減少

ソフトバンクモバイルが携帯電話端末の割賦債権の流動化により調達した資金を返済したことなどによるものです。

#### ※2 1年内償還予定の社債 前期比741億円の増加

全3回の無担保普通社債\*1が償還まで1年以内となったことなどによるものです。

★1 当社の第25回、第27回無担保普通社債、およびソフトバンクテレコム第2回無担保普通社債

#### ※3 社債 前期比588億円の増加

全5回の無担保普通社債\*2合計2,350億円を新たに発行したことなどによるものです。

★2 当社の第31回～35回無担保普通社債

#### ※4 長期借入金 前期比2,506億円の減少

ソフトバンクモバイルがSBMローン\*3を返済したことなどによるものです。

★3 ボードフォン日本法人の買収のために調達した資金を事業証券化の手法により借り換えたもの

負債の部
<b>流動負債</b>
・支払手形及び買掛金
・短期借入金 ※1
・コマーシャル・ペーパー
・1年内償還予定の社債 ※2
・未払金及び未払費用
・未払法人税等
・繰延税金負債
・リース債務
・その他
<b>固定負債</b>
・社債 ※3
・長期借入金 ※4
・長期未払金
・繰延税金負債
・退職給付引当金
・ポイント引当金
・リース債務
・その他
<b>負債合計</b>
<b>純資産の部</b>
<b>株主資本</b>
・資本金
・資本剰余金
・利益剰余金
・自己株式
<b>その他の包括利益累計額</b>
・その他有価証券評価差額金
・繰延ヘッジ損益
・為替換算調整勘定
<b>新株予約権</b>
<b>少数株主持分</b>
<b>純資産合計</b>
<b>負債純資産合計</b>

(単位：億円)

前期(2009年4月1日～2010年3月31日)

当期(2010年4月1日～2011年3月31日)

## ■連結損益計算書

前期末	当期末
13,788	16,444
1,589	1,936
4,379	4,109
—	250
544	1,285
4,514	5,614
1,004	1,153
—	71
1,097	1,313
659	711
21,200	21,316
4,485	5,073
12,815	10,309
475	2,651
304	265
155	144
472	419
2,244	1,997
246	454
34,989	37,761

前期末	当期末
4,446	6,233
1,887	1,887
2,130	2,125
430	2,222
△2	△2
258	△40
438	349
145	112
△325	△502
4	7
4,929	2,596
9,639	8,796
44,628	46,557

	前期	当期
売上高	27,634	30,046
・売上原価	13,265	13,736
・売上総利益	14,368	16,310
・販売費及び一般管理費	9,709	10,018
営業利益	4,658	6,291
・営業外収益	93	173
・営業外費用	1,341	1,260
経常利益	3,409	5,204
・特別利益	66	142
・特別損失	584	540
税金等調整前当期純利益	2,892	4,806
・法人税、住民税及び事業税	1,178	1,735
・法人税等の更正、決定等による 納付税額又は還付税額	—	273
・法人税等調整額	266	320
少数株主損益調整前当期純利益	—	2,476
・少数株主利益	479	579
当期純利益	967	1,897

(単位：億円)

前期(2009年4月1日～2010年3月31日)

当期(2010年4月1日～2011年3月31日)

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

	前期	当期
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,680	8,258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,771	△2,644
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,595	△3,977
現金及び現金同等物の期末残高	6,876	8,471
フリー・キャッシュ・フロー★	3,908	5,613

★フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

## セグメント別 営業概況

移動体通信事業が前期比50%を超える大幅増益となり、  
連結ベースでの増収増益をけん引しました。

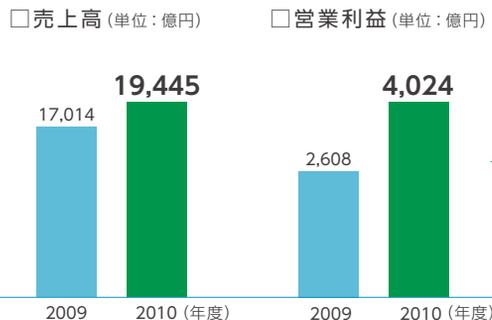


### 移動体通信事業

- ・携帯電話サービス
- ・携帯電話端末の販売

携帯電話契約数の増加と  
ARPU\*の上昇により**大幅増益**

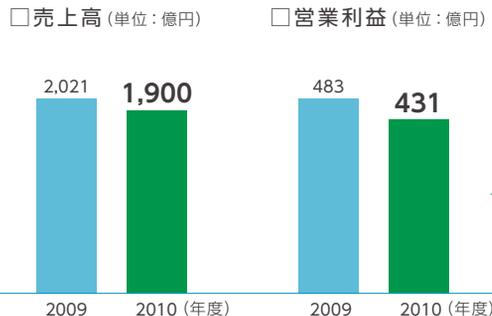
\* ARPU (Average Revenue Per User) : 1契約当たりの平均収入



### ブロードバンド・ インフラ事業

- ・ブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」
- ・IP電話サービス

「Yahoo! BB ADSL」の減収と、  
「Yahoo! BB 光 with フレッツ」の  
拡販による費用増加により**減益**

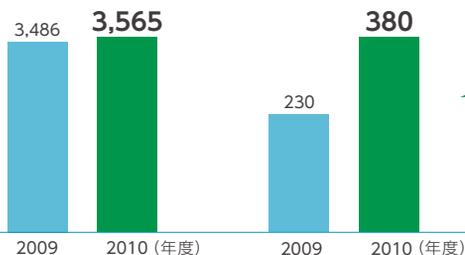


## 固定通信事業

- ・「おとくライン」を中心とした固定通信サービスの提供
- ・グループ通信会社へのネットワークの提供

グループ会社へのネットワーク提供による増収と、「おとくライン」関連設備のリース料減少により大幅増益

□売上高 (単位: 億円)      □営業利益 (単位: 億円)

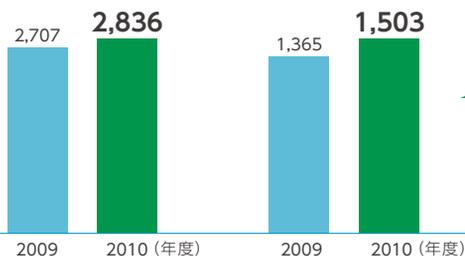


## インターネット・カルチャー事業

- ・インターネット上の広告
- ・ポータルサイト「Yahoo! JAPAN」の運営
- ・「Yahoo!ショッピング」などの電子商取引

インターネット広告の増収とデータセンターの自己保有による運用体制の効率化により増益

□売上高 (単位: 億円)      □営業利益 (単位: 億円)



### 【会計基準について】

ソフトバンクでは2010年度から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(以下、「新基準」)を適用しています。P.14~15では、2009年度から新基準を適用したと仮定して算出した業績を掲載しています。

ソフトバンクグループはあすのインターネット社会に向けて、事業を通じた社会への貢献を積極的に推進しています。

# ツイッターで寄せられた声を生かして、東日本大震災からの復興を支援しています。



「できました」

**31** 案件  
36案件中

(2011年5月31日現在)

1

## 避難所に「フォトビジョン」を無償提供

被災地の自治体へ、住民の皆さまへの情報伝達手段として、「フォトビジョン」を無償提供しています。電子回覧板として、避難所で住民の皆さまへのお知らせや技術情報の配信に使われています。



通信機能付き  
デジタルフォトフレーム  
「フォトビジョン」

2

## 被災者の「Yahoo! BB」ご利用料金を無料に

被災地のお客さまのインターネットサービス（「Yahoo! BB」など）の2011年3月度月額使用料を無償としました。4月以降も、サービスご利用が確認できないお客さまには継続して適用しています。

3

## 「災害用伝言板」サービスの自動Eメール送信のあて先数を拡大

「災害用伝言板」サービスでは、災害発生時に安否情報を登録すると、事前に登録しておいたあて先に自動的にメールでお知らせが送られます。登録できるあて先の件数を従来の3件から10件に拡大しました。

これからもソフトバンクグループは、皆さまのご要望を企業活動に生かしながら、事業を通して社会に貢献していきます。

# 会社概要

(2011年3月末現在)

## ■ 社名(商号)

ソフトバンク株式会社  
(英文社名)SOFTBANK CORP.

## ■ 設立年月日

1981(昭和56)年9月3日

## ■ 本社所在地

東京都港区東新橋1-9-1

## ■ 資本金

1,887億7,534万円

## ■ 株式数

発行可能株式総数 3,600,000,000株  
発行済株式総数 1,082,530,408株

## ■ 株主数

257,570名

## ■ 連結子会社数

117社

## ■ 持分法適用会社数

73社

## ■ 従業員数

151人(連結ベース21,799人)

## ■ 事業内容

純粋持ち株会社

## ■ 会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

## ■ 取締役および監査役(2011年6月24日現在)

### □ 代表取締役社長

孫 正義

### □ 取締役

宮内 謙

笠井 和彦

井上 雅博

ヤフー株式会社 代表取締役社長

ロナルド・フィッシャー

Director and President, SOFTBANK Holdings Inc.

ユン・マー

Chairman and CEO, Alibaba Group Holding Limited

柳井 正(社外取締役)

株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼社長

マーク・シュワルツ(社外取締役)

Chairman, MissionPoint Capital Partners, LLC

スニル・バーティ・ミタル(社外取締役)

Chairman and Managing Director, Bharti Airtel Limited

### □ 常勤監査役

佐野 光生

### □ 監査役

宇野 総一郎(社外監査役)

弁護士

柴山 高一(社外監査役)

公認会計士・税理士

窪川 秀一(社外監査役)

公認会計士・税理士

## 第31回

### 定時株主総会決議ご通知

当社第31回定時株主総会が、  
右記のとおり開催されました。

- 1. 日時…… 2011年6月24日(金曜日)午前10時
- 2. 場所…… 東京都千代田区丸の内三丁目5番1号 東京国際フォーラム ホールA
- 3. 内容…… 報告事項

1. 2010年度(2010年4月1日から2011年3月31日まで)事業報告、  
連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 2010年度(2010年4月1日から2011年3月31日まで)計算書類報告の件  
本件は、上記の内容について報告いたしました。

#### 決議事項

##### 第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案のとおり承認可決され、剰余金の配当は1株につき5円と決定いたしました。

##### 第2号議案 定款一部変更の件

本件は原案のとおり、定款第2条第1項に定める事業目的に「自然エネルギー等による発電事業およびその管理・運営ならびに電気の供給、販売等に関する業務」を追加することについて、承認可決されました。

##### 第3号議案 取締役9名選任の件

本件は、原案のとおり本ページに記載の取締役9名が選任され就任いたしました。

## 株主メモ

- **事業年度** ..... 4月1日から翌年3月31日まで
- **期末配当金受領株主確定日** ... 3月31日
- **定時株主総会** ..... 毎年6月
- **株主名簿管理人／** ..... 三菱UFJ信託銀行株式会社  
**特別口座の口座管理機関**  
(連絡先) 証券代行部 〒137-8081 東京都東区東砂7-10-11  
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
- **上場証券取引所** ..... 東京証券取引所 市場第一部
- **証券コード** ..... 9984
- **公告の方法** ..... 電子公告により行う  
公告掲載URL: [www.softbank.co.jp/](http://www.softbank.co.jp/)  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きについては、上記連絡先(三菱UFJ信託銀行証券代行部)にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。
3. 未受領の配当金については、三菱UFJ信託銀行本支店へご照会ください。

【 **免責事項** 】 本誌に掲載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本誌に掲載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

- 本誌に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
  - ・ Apple、Appleのロゴは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標です。
  - ・ iPhoneはApple Inc.の商標です。
  - ・ iPadはApple Inc.の登録商標です。
  - ・ iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
  - ・ Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 本誌の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。
- 本誌に掲載されている携帯電話の画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。
- 本誌に掲載されているサービス内容および製品の仕様・性能・デザインは、予告なく変更する場合があります。

✉ ソフトバンクの「今」が分かる  
**メールマガジン**  
ソフトバンクニュース

ソフトバンクグループの取り組みや決算情報、現場の社員による注目事業の紹介などを、ご登録いただいたメールアドレスに月1回お届けしています。

**お申し込みはこちら** [www.softbank.co.jp/mail/](http://www.softbank.co.jp/mail/)

## ソフトバンク株式会社

〒105-7303 東京都港区東新橋1-9-1

TEL: 03-6889-2000 E-mail: [sb@softbank.co.jp](mailto:sb@softbank.co.jp) [www.softbank.co.jp](http://www.softbank.co.jp)

